

米国務省主催フィリピン FIRST Workshop in Palawan に参加

JICC は、（一財）海外産業人材育成協会（AOTS）と連携し、米国務省（US-DOS）に協力して FIRST ワークショップの準備を行うとともに、同協会が実施する経済産業省委託事業の専門家として、6月3日～5日にフィリピン・パラワンで開催された US-DOS 主催のフィリピン FIRST ワークショップに参加し講義および指導を行った。

【経緯/目的】；

フィリピン政府は、脱炭素およびエネルギー安全保障の観点から原子力発電の導入検討を進めており、NEP-IAC の下で計画策定が進められている。本 Workshop は、SMR 技術の責任ある利用に関する知見共有および人材育成を目的として、米国務省主催、日米比協力の下で実施された。

【実施内容】；

本 Workshop には、フィリピンのエネルギー省（DOE）をはじめとする原子力関連フィリピン政府関係者、パラワン地元自治体関係者、MERALCO（電力会社）、投資会社（Board of Investment, Prime Infra）等関係者約 50 名が参加し、日米専門家によるサイト選定やステークホルダー・エンゲージメントに関する講義およびクラスディスカッション、意見交換を実施した。あわせて、関係機関との個別面談およびサイト候補地の視察を行った。

【成果】；

- ① Workshop において、JICC は AOTS 専門家として、原子力発電所のサイト要件、地震・津波影響評価、福島第一原子力発電所事故後の信頼回復に向けたコミュニケーション戦略について講義を行い、フィリピン関係者の理解を深めた。
- ② Workshop 期間中の関係機関との意見交換およびサイト候補地（Brgy Concepcion）の視察を通じ、原子力導入の最新状況や課題認識（制度整備、サイト要件、公衆理解促進等）を共有するとともに、日米協力の下での継続的支援の重要性を確認した。

